



令和5年12月1日
清瀬市立清明小学校
校長 渋谷 正芳

保護者の皆様へ

11月はインフルエンザによる学級閉鎖がありました。その後は落ち着き、現在、校内で流行している感染症はありません。しかし、11月下旬には溶連菌、流行性角結膜炎などの発生がありました。また、腹痛や下痢や嘔吐の症状での欠席が目立ちました。年末年始の頃は例年、感染症の流行が全国的にみられるため、今後も注意が必要です。

学校の中は室内とは言え、換気で窓を開けているために、寒く感じる場合があります。子供たちにも暖かい服装をすすめています。寒いと言っている子の中にはトレーナーを着ていても下着を着ていなかったり、短いズボンをはいていたということがあります。お子さんと寒いときにはどのような服装が良いか、確認していただければと思います。

冬の服装について 寒い季節の学校での服装の決まりは以下のとおりです。

体育以外の授業中や休み時間

- ・カイロは必要な場合は持ってきてよい。
- ・換気のため、冬場にひざ掛けを持ってきてよい。
- ・外で着ていた上着（厚手のコートなど）は、校舎内では脱ぐ。体温調節がしやすく、室内で着用するにふさわしい防寒着を着てもよい。（パーカー、カーディガン、薄手のダウン等）

体育の授業中

- ・体育着の上にトレーナーを着てもよい。
(金具がついているもの、フード付きパーカーは着用しない。)
- ・ニーハイソックス（膝より上の靴下）やタイツは体育の授業時の着用は不可とする。
- ・短パンの上に長ズボンを重ねてはくのは不可とする。
- ・原則短パンとするが、身体面の理由で担任が保護者より連絡を受け、許可することで長ズボンを着用することができる。材質や色は短パンに準ずる。



冬休みの生活リズムを整えて、3学期も元気にスタートできるように、冬休みと冬休み明けに生活リズム点検を行います。夏休みと同様に起床時間や就寝時間、メディア機器を使う時間について、お子さんと一緒に決めて取り組んでください。

じどう
児童のみなさんへ

寒い冬がやってきました。窓や扉をしめきって、部屋を暖かくしていると、細菌やウイルスが空气中をただよったり、二酸化炭素が増えたりしてしまうため、換気が必要です。部屋を換気していても暖かく過ごせるように、重ね着をしたり、下着を着たりして服装を工夫しましょう。

また、寒いからと言って、ポケットに手を入れたまま歩いていると転んだ時に大きなケガしてしまうかもしれません。寒いときは手袋をつけましょう。



のどが痛い！ 寒気がする！ こんなとき…

あなたはどちらをえらびますか？



家でゆっくり
過ごす



普段通り
人の多いところへ
出かける



早めに寝る



あたたかいものを
食べる



見たいテレビが
あるので夜ふかし



好きなものだけ
食べる



**早く
元気になる！**



**もっと体調が
悪くなる**